

学年	高校3年	教科	理 科	科目	化 学 演 習	単位数	5
教科書名		化学（実教出版）		副教材名	実戦アクセス総合化学（浜島書店）		
コース・クラス		N進理系					

I 目標

- 1 基礎学力到達度テストにおいて、得点率 70%を獲得できる実力を身につけさせる。
- 2 演習問題を中心とした授業により、理系大学の受験に対応できる計算力や応用力を身につけさせる。

II 授業のねらい

- 1 基礎学力到達度テストを意識した問題演習を多く取り入れ、実力を養う。
- 2 炭水化物、タンパク質、脂質を分子レベルで学び、理解を深める。
- 3 身の回りにあふれている高分子化合物（プラスチック、ゴム）などの理解を深める。
- 4 繊維、色素、洗剤を分子レベルで理解を深める。
- 5 化学基礎、化学の内容を、問題演習を通して総復習し、大学入試に対応できる力を身につける。また、理系私大入試において必要な応用力、思考力を身につけさせる。

III 授業の進め方

板書、問題演習を中心とする。また、実験を取り入れ、知識の定着をはかる。

IV 学習上の留意点

- 1 基礎学力到達度テストを意識し、問題集を中心とした演習を行うことが必要である。
- 2 常に身の回りの物質、現象を意識しながら学習を進める。これにより、幅広い知識の習得を心がける。

V. 定期試験

- 1 学期 中間試験 : 基礎学力到達度テスト
- 1 学期 期末試験 : 基礎学力テスト、有機化合物
- 2 学期 期末試験 : 有機化合物、高分子化合物

VI 評価の方法

定期試験、小テスト、提出物、授業への取り組み方などで総合的に評価する。

VII 授業計画

学期	月	単元・学習項目	評価方法	到達目標
一学期	4	1、2年次の復習 基礎学力到達度テスト対策	・小テスト ・実験 ・中間試験 ・期末試験	・化学基礎、化学(無機化合物まで)の総復習を通して、基礎学力到達度試験対策に対応できる実力が身についている。 ・基礎学力到達度テストで、得点率 70%を獲得できる実力が身についている。
	5			
	6			
	7			
二学期	9	有機化合物の特徴と構造 炭化水素 酸素を含む有機化合物 問題演習	・小テスト ・実験 ・提出物 ・学年末試験	・有機化合物の質量分析ができる。 ・特定の官能基をもつ化合物の性質を正しく理解できる。 ・異性体を区別できる。
	10			
	11			
	12			

※ シラバスの内容（時間や事項）については、理解度やその他の都合により変更することもあります。